

Feature of natural wood

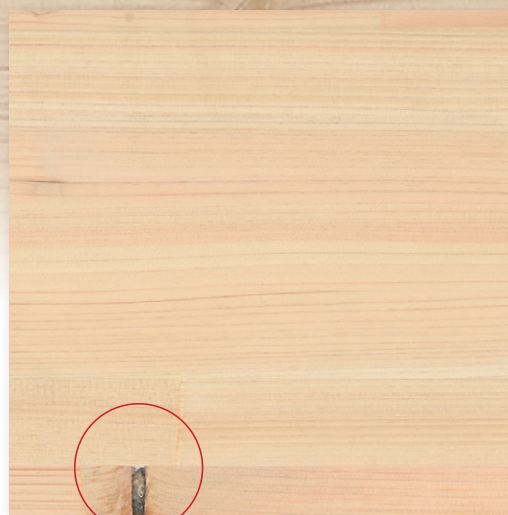
天然木の特徴

天然木の色や柄などは一つ一つ表情が違い、
化学製品の内装材とは違った自然素材特有の豊かな特徴があります。
(株)ティ・エス・シーでは、
こうした天然木の特徴をそのまま生かした製品も多数取り扱っています。



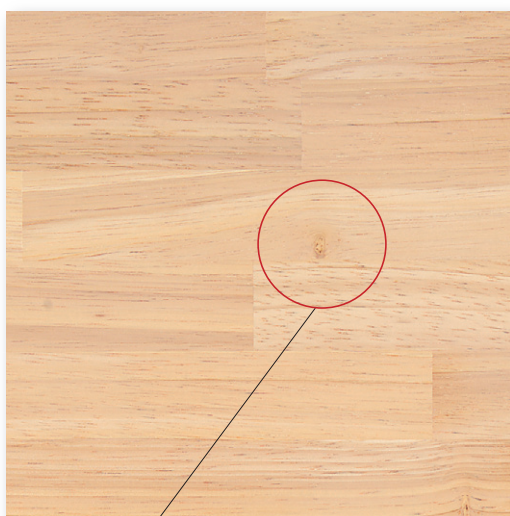
いき ぶし
生 節

枝が生きたまま幹に包まれてできた節で、枝の部分と幹の部分がつながっています。そのため、生節を柱や板に加工しても抜け落ちることはありません。



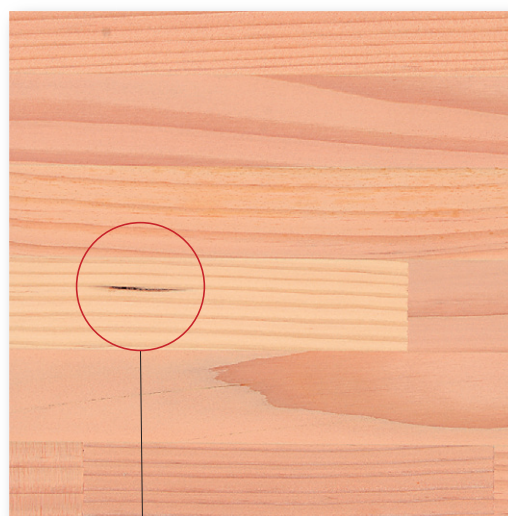
しに ぶし
死 節

枝が何かの理由で枯れてしまい、そのまま幹の中に包まれ、そして枯れていった枝の痕跡が死節として残っています。そのため、死節は「節穴」と呼ばれる穴になる可能性が高くなります。



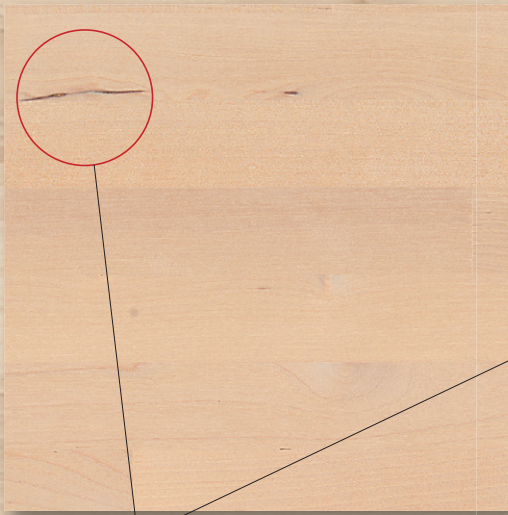
は ぶし
葉 節

節の成長とともに伸長成長し、その先端を伸ばしていく休眠芽が、局部的に発達してできた生節。



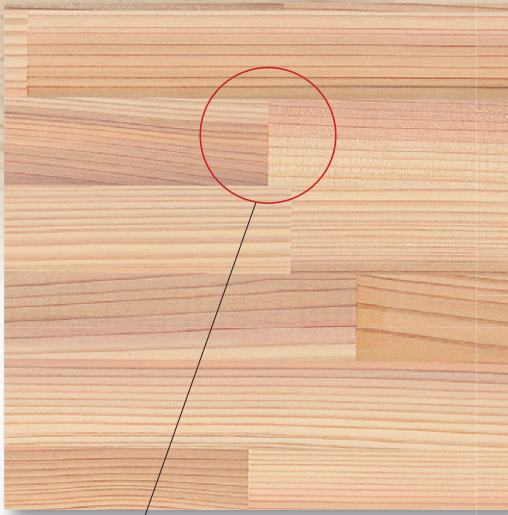
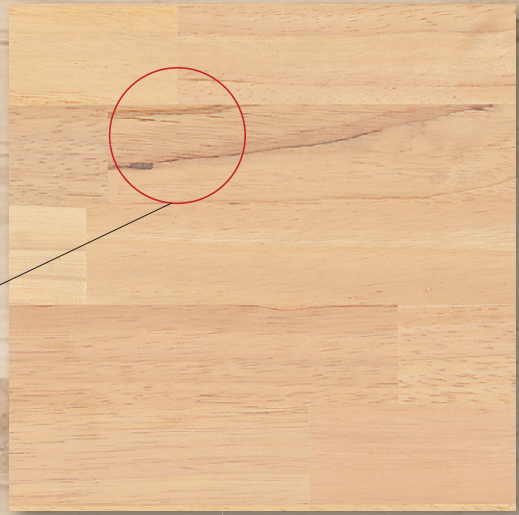
ヤニスジ
(ヤニツボ)

木の樹脂が中に染み込むことで、線上になって現れたもの。



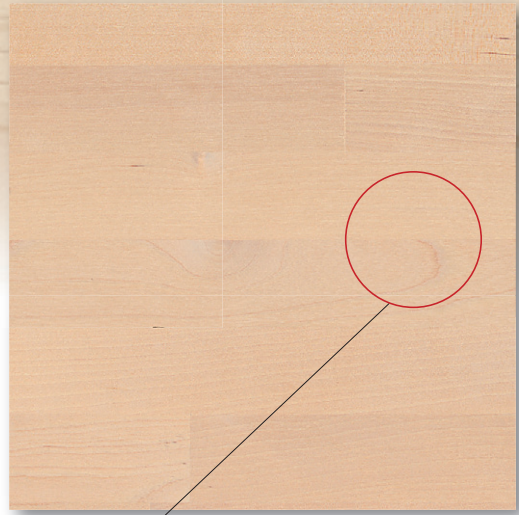
**い かわ
入り皮**

樹木が成長の過程で外皮に傷などを受けると、傷付いた部分の形成層の細胞活動が停止し、その部分を樹皮が皮が巻き込むように周囲の組織が成長します。その結果、樹木内部に樹皮が巻き込まれてしまったものが入り皮です。製品にした時に木目に出てくる場合があります。



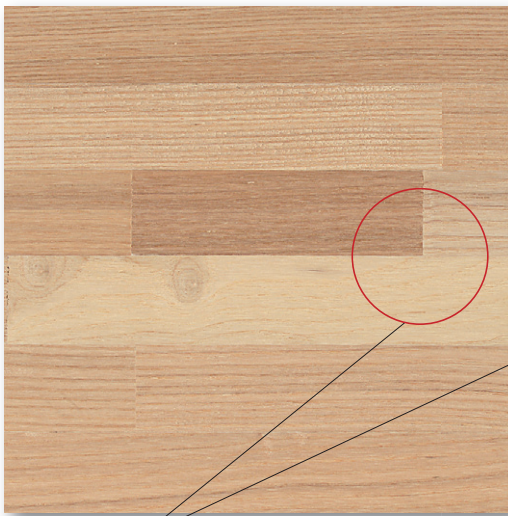
**げん べい
源 平**

心材(赤身)と辺材(白太)の混ざりや材色のばらつきをいいます。



**もく ちが
空 違い**

天然木の場合、個々に杢の違いがあります。



**色 違い
(ピースの色差)**

天然木の場合、個々に色が違い、集成材ではピースごとに色の差が出ます。

